

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月27日現在)とその理由	事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由	事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由	事業費(第4回査定後)
1	秘書広報課	ホームページの管理・充実	市民の生活に密着したさまざまな情報をホームページで積極的に提供・発信する。25年度は、より検索や閲覧がしやすい新たなホームページ管理システムの導入に向け、サイト構造の設計などを行い、システムの調達仕様書を委託により作成する。	・ホームページリニューアルの検証委託	9,519千円	A 事業の必要性は高い 実施方法については要検討	A 事業の必要性は高い	7,769千円	A 同左	7,769千円	A 同左	7,769千円
2	秘書広報課	広報の編集・発行	市政に関するさまざまな情報や、市民からのお知らせなどを掲載した広報あびこを編集・発行する。25年度は広報あびこを電子画像化し、閲覧できるシステムを導入する。	・電子画像化及び閲覧システム業務委託	1,776千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
3	秘書広報課	若者定住化に向けての情報発信力の強化	子育て世代をはじめとした若年層の定住化を促進するような施策をさまざまな媒体を活用してPRする。	・アンケートの実施 ・ホームページの作成委託 ・ケーブルテレビや雑誌、新聞への広告の掲載 ・備品購入	2,641千円	A 事業の必要性は高い 若手職員の意見を聴きながら検討・実施	A 事業の必要性は高い 若手職員の意見を聴きながら検討・実施 ケーブルテレビへの広告掲載については不採択	942千円	A 同左	942千円	A 同左	942千円
4	情報システム課	電算システムの運用	電算システム包括委託業務によって事業者から提供されるサービスのモニタリングを実施し、サービス水準の維持・向上や安定稼働を図りながら電算システムの運用を行う。施設予約システムについては、26年度からは施設予約システムを共同利用するため、25年度にその準備・移行作業を行う。	・ちば施設予約システム移行作業委託	2,100千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,890千円	A 同左	2,100千円	A 同左	2,100千円
5	施設管理課	庁舎維持管理	庁舎を安全で快適に使用できるよう維持管理を行う。	・本庁舎吸収冷温水機整備工事 ・本庁舎冷却塔整備工事 ・議会棟男子トイレ改修工事 ・西別館エレベーター耐震対策工事 ・消防用設備の容器弁点検	22,668千円	A 事業の必要性は高い 優先順位をつけて実施	A 事業の必要性は高い 西別館エレベーター耐震対策工事と消防用設備の容器弁点検のみ採択	12,036千円	A 同左	12,036千円	A 同左	12,036千円
6	施設管理課	公共施設包括管理業務	市の54施設の維持管理点検業務等を包括委託する。25年度から、新たに37施設の維持管理点検業務等を包括委託する。	・公共施設包括管理業務委託(新規37施設分)	15,813千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	15,708千円	A 同左	15,813千円	A 同左	15,813千円
7	企画課	手賀沼・手賀川活用推進協議会	柏市、印西市、我孫子市などで構成する「手賀沼・手賀川活用推進協議会」において、手賀沼・手賀川や、その周辺の豊かな水と緑などの資源を活用した施策の検討を行い、できるものから事業化する。25年度は、民間活力の導入に向けた調査研究を行う。	・手賀沼・手賀川活用推進協議会負担金	300千円		A 事業の必要性は高い	300千円	A 同左	300千円	A 同左	300千円
8	企画課	新たな文化施設整備の検討	新たな文化施設の整備に向けて、我孫子市民会館跡地検討委員会や我孫子市文化施設検討委員会の報告内容を基本に、施設の概要や建設場所、整備手法などについて、検討を進める。25年度は文化や交流、にぎわいの拠点施設としてふさわしい機能や建設場所、整備手法などについての調査研究を委託して行う。	・文化交流拠点施設調査研究委託	4,200千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,360千円	A 同左	3,360千円	A 同左	3,360千円
9	企画課	若い世代の定住化の促進	若い世代の定住化を促進するため、若手職員などで構成する定住化促進庁内検討委員会を中心に、子育て支援をはじめとしたさまざまな定住化策について総合的に検討していく。また、定住化策の検討に役立てるため、これまでの人口動向の分析と、震災の影響を踏まえた今後の人口推計を行うとともに、転入者や転出者に対するアンケート調査を実施する。	・定住化促進施策に関する報告書作成支援業務委託	4,375千円		A 事業の必要性は高い	3,500千円	A 同左	3,500千円	A 同左	3,500千円
10	市民課	我孫子駅北口区画整理換地に伴う本籍表示の更正	我孫子駅北口区画整理の換地該当者の戸籍簿の抽出や新地番の振り分け、変更に伴う各種通知の発行などを行う。	・データ抽出・入力、各種通知作成業務委託 ・各種通知の郵送	722千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	656千円	A 同左	656千円	A 同左	722千円
11	市民活動支援課	市民プラザの施設運営	利用者がより快適に利用できるよう、指定管理者により市民プラザの維持管理を行う。25年度はサロン照明の増設工事を行う。	・サロン照明の増設工事	1,623千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	900千円	A 同左	900千円	A 同左	900千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月27日現在)とその理由		事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)
12	市民活動支援課	市民・近隣センター等施設維持管理	近隣センターや市民センターの利用者が快適に利用できるよう施設の維持管理や修繕を行うとともに、省エネルギー型の照明を順次導入する。また、放射線量を低減させるため、用地内の芝生を撤去した青山台自治会集会所について、原状回復工事を行う。	・机、椅子リース(天王台北) ・近隣センター空調設備更新工事(久寺家) ・近隣センター外装修繕・外壁等改修工事(布佐南) ・近隣センター省エネルギー照明設置(天王台北、根戸、新木、湖北台) ・青山台自治会集会所用地の現状回復工事	30,986千円	AB	事業の必要性は高いが、26年度以降に実施	A	事業の必要性は高い 青山台自治会集会所用地の現状回復工事のみ採択 その他については26年度以降に実施	322千円	A	同左	322千円	A	同左	322千円
13	市民活動支援課	自治会集会所整備事業等補助金の交付	自治会集会所整備事業補助金交付要綱に基づき、自治会から申請のあった集会所施設の整備補助を行う。	・江蔵地自治会集会所建て替えへの補助	15,000千円	A	事業の必要性は高い できる限りコミュニティ助成金を活用して実施	A	同左	15,000千円	A	同左	15,000千円	A	同左	15,000千円
14	市民活動支援課	男女共同参画情報紙の発行	情報紙「かがやく」を発行し、自治会を通じて各戸配布するとともに、公共施設等で配布する。提案型公共サービス民営化制度により、25年度から企画、取材、編集、印刷、発送までを民間委託する。	・情報紙の作成委託	1,197千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,078千円	A	同左	1,078千円	A	同左	1,078千円
15	市民活動支援課	地域コミュニティ活性化の推進	地域のさまざまな組織が情報交換や連携する仕組みなど、コミュニティ活動が活性化していくための仕組みをまとめた地域コミュニティ活性化基本方針を策定し、地域に応じたコミュニティづくりを行う。また、コミュニティづくりをへの関心を高めるためにフォーラムを開催する。	・基本方針の策定 ・基本方針の印刷製本 ・先進地視察 ・フォーラムの開催	2,580千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,245千円	A	同左	2,245千円	A	同左	2,245千円
16	市民安全課	防災行政無線の維持管理と無線機の整備	災害時に一斉・効率的に情報を伝達できるよう携帯型無線機を配置するとともに、25年度から3ヶ年かけて防災行政無線の子局のデジタル化を図る。	・防災行政無線の子局のデジタル化 ・MCA無線機の整備(38台)	114,504千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施 MCA無線機については台数を精査し、できる限り社会資本整備総合交付金を活用して実施	111,774千円	A	事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施 MCA無線機については、社会資本整備総合交付金を活用して26年度以降に実施	104,000千円	AA	事業の必要性は高い 防災行政無線の子局のデジタル化については、国の臨時交付金を活用して24年度補正予算で対応 MCA無線機については、社会資本整備総合交付金を活用して26年度以降に実施	0千円
17	市民安全課	防災用施設と非常用備蓄品の整備	大規模災害に備えて、非常用備蓄品を補充するとともに、貯水槽や防災備蓄倉庫を整備する。	・簡易防災井戸の整備(2校) ・防災倉庫設置工事設計(気象台記念公園) ・非常用浄水装置の購入(2台) ・防災備蓄品の久寺家ポンプ場への移動	6,739千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施 非常用浄水装置については1台のみ採択	4,598千円	A	同左	4,598千円	A	事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施 非常用浄水装置については1台のみ採択	1,473千円
														AA	簡易防災井戸の整備と防災倉庫設置工事設計については、国の臨時交付金を活用して24年度補正予算で対応	0千円
18	市民安全課	地域防災計画修正業務	「東日本大震災」の発災と現状を踏まえて、「我孫子市地域防災計画」を見直したのを受け、新たに「災害時各課対応マニュアル」と「業務継続計画」を作成するとともに、「災害弱者行動計画」の見直しを行う。	・災害時各課対応マニュアル作成業務委託 ・業務継続計画作成業務委託 ・災害弱者行動計画改定業務委託	12,191千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施	8,029千円	A	同左	8,029千円	A	同左	8,029千円
19	社会福祉課	福祉相談の実施(車両の購入)	生活や福祉に関する相談について、適切な情報提供や助言、福祉サービスの提供機会の紹介を行う。25年度は、増加する相談や訪問に対応するための車両を購入するとともに、孤立死防止の啓発チラシを作成・配布する。	・車両購入 ・孤立死防止の啓発チラシの作成	1,266千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,258千円	A	同左	1,258千円	A	同左	1,258千円
20	社会福祉課	社会福祉協議会支援事業	社会福祉協議会の運営に係る人件費と同協議会定款に定める事業について必要な補助を行う。また25年度から成年後見制度の支援事業を開始する。	・成年後見支援事業業務委託 ・社会福祉協議会補助金(湖北地区地域ぐるみネットワーク事業拡大部分)	11,207千円	A	事業の必要性は高い 成年後見支援業務は、高齢者支援課の成年後見支援業務との一本化を検討し、26年度から実施	A	事業の必要性は高い 成年後見支援業務は、高齢者支援課の成年後見支援業務との一本化を検討し、26年度以降に実施	882千円	A	同左	882千円	A	同左	882千円
21	社会福祉課	社会福祉法人の法人運営に対する指導監査	社会福祉法人の適正な運営を管理するため、社会福祉法人に対する指導監査を実施する。	・指導監査支援業務委託 ・旅費 ・図書購入	7,086千円	A	事業の必要性は高い 委託費は段階的に削減していくこと	A	同左	7,086千円	A	同左	7,086千円	A	同左	7,086千円
22	健康づくり支援課	乳がん検診	女性のためのがん検診推進事業に基づき、検診未受診者に対してコールリコール(検診受診勧奨)を実施する。また、無料クーポン券配布対象者を拡大する。	・未受診者勧奨通知作成 ・アンケート調査 ・無料クーポン作成(対象拡大部分) ・乳がん検診の実施(拡大部分)	10,387千円	A	事業の必要性は高い 国の補助が受けられることを前提に採択	A	同左	7,882千円	A	同左	7,882千円	A	同左	7,882千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月27日現在)とその理由	事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由	事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由	事業費(第4回査定後)
23	健康づくり支援課	大腸がん検診	がん検診推進事業に基づき、検診未受診者に対してコールリコール(検診受診勧奨)を実施する。	・未受診者勧奨通知作成 ・アンケート調査 ・検診委託料	1,310千円	A 事業の必要性は高い 国の補助が受けられることを前提に採択	A 同左	1,310千円	A 同左	1,310千円	A 同左	1,310千円
24	健康づくり支援課	子宮がん検診	女性のためのがん検診推進事業に基づき、検診未受診者に対してコールリコール(検診受診勧奨)を実施する。	・未受診者勧奨通知作成 ・アンケート調査 ・検診委託料	1,501千円	A 事業の必要性は高い 国の補助が受けられることを前提に採択	A 同左	1,501千円	A 同左	1,501千円	A 同左	1,501千円
25	健康づくり支援課	特定健診・特定保健指導等事業	特定健診と長寿健診のうち、節目年齢の方に簡易脳ドック(頸動脈エコー)を実施する。	・簡易脳ドックの実施 ・問診票用紙購入	8,939千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	8,939千円	A 同左	8,939千円	A 同左	8,939千円
26	健康づくり支援課	心も身体も健康プラン・食育推進行動計画の推進	17年に策定した「心も身体も健康プラン」と18年に策定した「食育推進行動計画」の次期計画を策定するため、見直しを進める。	・次期計画策定に向けたアンケートの実施 ・アンケートの分析・製本	2,322千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,992千円	A 同左	1,992千円	A 同左	1,992千円
27	健康づくり支援課	保健センターの運営(空調工事)	保健センターの運営を行うとともに、老朽化した施設設備の更新を行う。	・空調設備工事設計	6,669千円	A 事業の必要性は高い 整備手法を検討したうえで設計を実施	A 同左	6,003千円	A 同左	6,003千円	A 同左	6,003千円
28	健康づくり支援課	ホールボディカウンタ測定費用の助成	原発事故の影響による内部被ばくの状況を把握するため、医療機関等においてホールボディカウンタ測定を受けた妊婦、乳幼児、小学生、中学生、高校生相当に対し、その費用の一部を助成する。	・測定費の助成 ・助成に係る通信運搬	643千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	643千円	A 同左	643千円	A 同左	643千円
29	健康づくり支援課	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導	水道法の改正や県からの権限移譲に伴い、25年度から専用水道・簡易専用水道・小規模水道の設置者に対し、施設の布設工事や維持管理などの指導をする。	・啓発リーフレット印刷 ・備品購入 ・検査試薬購入他	259千円	A 事業の必要性は高い 啓発リーフレットについては、経常費の中で対応	A 同左	154千円	A 同左	154千円	A 同左	154千円
30	健康づくり支援課	特定不妊治療費の助成	千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱による助成の決定を受けた者に対し、1回の治療につき75,000円を上限に助成する。	・特定不妊治療費の助成 ・助成に係る通信運搬	9,008千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 助成額は1回の治療につき50,000円を上限とする	6,008千円	A 同左	6,008千円	A 同左	6,008千円
31	健康づくり支援課	禁煙外来治療の助成	禁煙外来治療を完了した者に対し、その費用の一部を助成する。	・禁煙外来治療費の助成 ・助成に係る通信運搬	1,007千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、26年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
32	健康づくり支援課	脳ドックへの助成	我孫子市の実施する脳ドックを受けた者に対し、その費用の一部を助成する。	・脳ドック費用の助成 ・脳ドック助成券作成業務委託 ・助成に係る通信運搬 ・受診票印刷 ・健康管理システム改修委託	8,070千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	5,017千円	A 事業の必要性は高い 脳ドック費用の助成、受診票印刷、健康管理システム改修委託のみ採択	4,981千円	A 同左	4,981千円
33	健康づくり支援課	動画による健康教育	運動・栄養・歯と口腔など、健康づくりに関するDVDを作成・動画配信する。	・DVD作成委託 ・作成協力者への報償	603千円	A 事業の必要性は高い DVDの作成については、3年に一度の実施とする	AB 事業の必要性は高いが、26年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
34	健康づくり支援課	笑って免疫力アップ事業	笑える川柳・標語・写真・絵画・漫画などを市民から投稿してもらい、ホームページや広報に掲載する。また、年に1度「笑い」のコンテストを開催し、受賞作品を展示・掲載する。「笑い」と健康に関する講演会を開催し、「笑い」から免疫力をアップさせる。	・ポスター、チラシ印刷 ・コンテストの開催 ・講演会の開催 ・講師報償	1,830千円	AB 事業の必要性は高いが、26年度以降に実施 受益者負担については検討	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
35	健康づくり支援課	フッ化物洗口事業	歯と口腔の健康づくりを推進するため、保育園、幼稚園、社団法人我孫子市歯科医師会と協力し、幼児のフッ化物洗口を実施する。	・医師報償 ・歯科衛生士(臨時職員)の増員 ・医薬品の購入他	1,607千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,607千円	A 同左	1,607千円	A 同左	1,607千円
36	障害福祉支援課	障害者自立支援給付事務	障害者から福祉サービスの利用相談や申請を受け、サービスの支給決定を行う。25年度から県から移譲される「育成医療費」の支給事務を行う。	・障害児育成医療の給付 ・審査医師報償 ・育成医療審査	2,984千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,984千円	A 同左	2,984千円	A 同左	2,984千円
37	障害福祉支援課	障害者支援施設の整備	障害者の中で活動の場の充実を図るため、社会福祉法人「ひろがり」が行う障害福祉サービス事務所「みずき」の利用者の受け入れが円滑に行われるよう、補助金を交付する。	・施設入所確保への補助	10,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	10,000千円	A 同左	10,000千円	A 同左	10,000千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月27日現在)とその理由	事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)	
38	障害福祉支援課	障害者相談支援体制の強化	自立支援法の改正により相談支援事業がさらに強化されることから、事業を実施する民間相談支援事業所の立ち上げを支援し、相談支援事業の委託を行う。	・相談支援事業委託 ・障害程度区分認定調査委託	20,215千円	A	事業の必要性は高い 委託料の算出方法を整理	A	事業の必要性は高い	20,215千円	A	同左	20,215千円	A	同左	20,215千円
39	障害福祉支援課	重症心身障害児施設の整備	第4次千葉県障害者計画に基づき、柏市内に整備される医療的ケアが必要な重症心身障害児(者)に対する治療や日常生活の支援などを行う施設に対して、県や近隣市とともに財政的支援を行う。	・施設整備費の負担	18,301千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	18,301千円	A	同左	18,301千円	A	同左	18,301千円
40	あらしき園	あらしき園の利用者支援	相談支援員を新たに配置し、より利用者のニーズに合った支援を提供する。	・嘱託職員(相談支援員)配置(1名) ・サポートソフトの使用	2,607千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,607千円	A	同左	2,607千円	A	同左	2,607千円
41	障害者就労支援センター	障害者ジョブコーチ(職場適応援助者)の派遣	就職を目指す障害者に対し、より専門性の高い評価支援を行うため、心理相談員を配置する。	・嘱託職員(心理相談員)配置(1名) ・心理評定用備品購入	2,707千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,707千円	A	同左	2,707千円	A	同左	2,707千円
42	障害者福祉センター	障害者福祉センターの維持管理	障害者の訓練施設として、効率的に訓練できるよう、施設を維持管理する。25年度は訓練室の出入口を拡張し、車いすも通りやすくする。	・訓練室出入口改修工事	949千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	949千円	A	同左	949千円	A	同左	949千円
43	障害者福祉センター	障害者福祉センターの放射能対策	施設利用者が安心して快適な施設利用ができるように、障害者福祉センターグラウンドの除染と芝の植栽を実施する。	・障害者福祉センターグラウンドの除染と芝の植栽工事	3,990千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	3,990千円	A	同左	3,990千円	A	同左	3,990千円
44	高齢者支援課	老人福祉センターの運営	老人福祉センターの施設を適切に維持管理し、情報交換、健康の増進を目的に家に閉じこもりがちな高齢者の利用促進を図る。	・つつじ荘地下重油タンク改修 ・西部福祉センターの除染工事	6,050千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	6,050千円	A	同左	6,050千円	A	同左	6,050千円
45	高齢者支援課	社会福祉施設の整備	認知症高齢者グループホームなどの居住機能を持った地域密着型のサービス拠点や特別養護老人ホームの整備を行う事業者への補助金を交付し、施設整備を促進する。	・認知症高齢者グループホームの整備への補助 ・広域型特別養護老人ホームの整備への補助	168,000千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	168,000千円	A	同左	168,000千円	A	同左	168,000千円
46	高齢者支援課	認知症予防事業の推進	高齢者自身が自主的に予防活動に取り組めるプログラムを実施する人材(予防プログラムファミリーリーダー)を育成するとともに、プログラムの展開、プログラム終了後の自主グループ化を促す。	・ファミリーリーダー養成講師報償 ・ファミリーリーダー報償 ・プログラムの実施 ・ファイブテストの実施	422千円	AB	事業の必要性は高いが、26年度以降に実施 当面は1次予防事業を優先すること	AB	同左	0千円	AB	同左	0千円	AB	同左	0千円
47	高齢者支援課	肺炎球菌予防接種事業	65歳以上75歳未満の高齢者の肺炎球菌予防接種に対して、助成を行い肺炎による疾病の重篤化を防止する。	・ワクチン接種費用の助成	4,040千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	4,040千円	A	同左	4,040千円	A	同左	4,040千円
48	国保年金課	国保保険事業	人間ドックへの助成や、はり・きゅう・あん摩等施設利用券の交付を行って、被保険者の健康の維持・増進を図る。25年度は、人間ドックの助成対象を拡大する。	・検診委託料(人間ドック対象拡大分) ・システムの改修	28,955千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	28,955千円	A	同左	28,955千円	A	同左	28,955千円
49	子ども支援課	子どもの居場所づくり	放課後、子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる「子どもの居場所」を順次整備する。25年度は、5校目の湖北台東小を開所するとともに、6校目のあびっ子クラブの施設整備を行う。	・5校目(湖北台東小)運営費 ・6校目施設整備費 ・あびっ子クラブ施設修繕工事 ・緊急通報システム委託(一小・西小・東小)	17,440千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い ただし、6校目については、25年度は検討を行い、施設整備は進捗状況に応じて対応	12,240千円	A	同左	12,240千円	A	同左	12,240千円
50	子ども支援課	学童保育室の運営	市内13小学校区内に学童保育室を設置し、学童保育スタッフによる保育を行う。25年度は、安全対策として、外灯設置やコルクマット整備、窓ガラス等の飛散防止フィルム取付等を行う。	・AEDリース(三小・高野山小) ・職員駐車場の確保 ・飛散防止フィルム取付業務委託 ・学童保育室の安全対策(一小の入口改修、並木小の外灯設置、三小・新木小のコルクマット布設、布佐南小の学童前舗装、蛍光灯カバー設置(2校分)) ・地デジ対応工事等	8,484千円	A	事業の必要性は高い AEDリース、職員駐車場の確保、一小の入口改修、新木小のコルクマット布設、並木小の外灯設置、布佐南小の学童前舗装を採択	A	事業の必要性は高い AEDリース、職員駐車場の確保、一小の入口改修、新木小のコルクマット布設、蛍光灯カバー設置(2校分)、布佐南小の学童前舗装を採択	3,884千円	A	同左	3,884千円	A	同左	3,884千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月27日現在)とその理由		事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)
51	子ども支援課	子ども総合計画の推進	地方版子ども・子育て支援会議を設置し、幼児期の学校教育の需要、保育の需要、放課後児童クラブの需要等ニーズ調査を実施し、調査結果をもとに「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画を推進する。	・子ども・子育て支援事業計画策定支援業務委託 ・子ども・子育て会議委員報償	7,172千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	7,172千円	A	同左	7,172千円	A	同左	7,172千円
52	子ども支援課	学童保育室の整備	学童保育室施設整備計画に基づき、四小小学童保育室の整備を行う。	・四小小学童保育室新築工事	77,786千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	78,284千円	A	同左	78,284千円	A	同左	77,786千円
53	保育課	ファミリーサポートセンター事業の推進	子育てを手助けして欲しい方(利用会員)と子育てを手助けしたい方(提供会員)の仲介役となって、会員の育児互助活動が円滑に行われるよう調整し、支援する。	・ファミリーサポートセンターの運営委託 ・NPO法人への業務引き継ぎ(臨時職員2名)	10,160千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	10,160千円	A	同左	10,160千円	A	同左	10,160千円
54	保育課	私立幼稚園の運営支援	私立幼稚園や園児の保護者に対して経済的支援を行う。25年度は、園児補助金を年額18,000円を20,000円に増額するとともに、私立幼稚園に施設修繕のための補助金を交付する。	・園児補助金の増額 ・私立幼稚園施設修繕の補助	5,564千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 園児補助金は、年額19,000円とする	3,150千円	A	同左	3,150千円	A	同左	3,150千円
55	保育課	市立保育園遊具の新設	遊具定期点検の結果に伴い、老朽化による危険な遊具及び現基準に適合しない遊具を撤去した保育園に、新設遊具を計画的に設置する。	・寿保育園遊具設置工事	1,019千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,019千円	A	同左	1,019千円	A	同左	1,019千円
56	保育課	根戸保育園の移転・解体	リース園である根戸保育園の建替えのため、新園舎の建設と旧園舎の解体工事実施に伴い、新たな賃借料の契約や移転に伴う業務を進める。	・保育園賃借 ・保育園園舎解体工事 ・新園舎への引越し ・備品購入 ・給食外部委託他	19,711千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	19,662千円	A	同左	19,662千円	A	同左	19,662千円
57	保育課	寿保育園空調設備の改修	暖房設備とエアコンの老朽化による保育室・事務室内の空調設備を改修する。	・寿保育園空調設備の改修工事実施設計	2,485千円	A	事業の必要性は高い 整備手法を検討したうえで設計を実施	A	同左	2,090千円	A	同左	2,090千円	A	同左	2,090千円
58	保育課	保育園・幼稚園の放射線対策	放射線量低減策を実施するための基準を超える場合に、園庭表土の削り取りなどの放射線量低減化策や、保育園の給食の食材検査と丸ごと検査を実施する。	・市立・私立保育園・幼稚園放射線量低減対策工事 ・市立・私立保育園給食丸ごと検査委託 ・放射性物質測定用給食食材の購入 ・めばえ幼稚園園庭用芝購入	6,748千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	6,748千円	A	同左	6,748千円	A	同左	6,748千円
59	保育課	私立保育園施設整備への補助	天王台地区に開園する私立保育園と、老朽化した施設の大規模改修を行う湖北保育園に対して補助を行い、待機児童ゼロを確保するとともに、子どもが健やかに育つ質の高い保育環境を整備する。	・(仮称)さくらの樹保育園施設整備補助金(天王台地区) ・湖北保育園施設整備補助金	122,430千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	122,430千円	A	同左	122,430千円	A	同左	122,430千円
60	保育課	湖北台保育園の耐震補強と施設改修	園舎の耐震補強工事と老朽化した施設の改修工事を行う。	・湖北台保育園耐震補強・施設改修工事設計	5,434千円	AB	事業の必要性は高いが、25年度に湖北台地区の公共施設整備の中で検討	AB	同左	0千円	AB	同左	0千円	AB	同左	0千円
61	保育課	市立保育園の第三者評価	市立保育園の保育サービスを公正で中立な第三者機関が専門的で客観的な立場から評価し、保育サービスの向上に努める。25年度は3園で第三者評価を実施する。	・第三者評価の実施(寿・湖北台・東あびこ)	514千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	463千円	A	同左	463千円	A	同左	463千円
62	保育課	子育てサポーターの養成と地域活動の推進	子育てサポーター養成講座を開講し、市認定サポーターを養成する。25年度から子育てサポーターによる地域での活動を支援する。	・子育てサポーター活動報償	150千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	150千円	A	同左	150千円	A	同左	150千円
63	子ども相談課	こども発達センターの施設整備	児童福祉法の改正に伴い、こども発達センターが中核的な療育施設「児童発達支援センター」の機能を担い、既存の事業もあわせて推進していくため、施設を整備する。	・施設整備工事基本設計・実施設計	12,621千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	11,359千円	A	同左	11,359千円	A	同左	11,359千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)		
64	こども発達センター	こども発達センター施設の維持管理	こども発達センター施設の維持管理を行う。25年度は、本館内の壁面の修繕を行う。	・施設修繕	1,890千円	A	事業の必要性は高い 修繕方法については検討	A	事業の必要性は高い 25年度は応急的な修繕を実施し、本格的な修繕については、こども発達センターの整備後に予定されている、あらかき園施設としてのリフォームにあわせて再検討	582千円	A	同左	582千円	A	同左	582千円
65	こども発達センター	児童発達相談支援	こども発達センター内に相談支援事業所を立ち上げ、ケアプランの作成などを充実させる。	・嘱託職員(社会福祉士)配置(2名)	5,480千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	5,480千円	A	同左	5,480千円	A	同左	5,480千円
66	クリーンセンター	剪定枝木等のチップ化事業(放射能対策)	公園・道路・学校など公共施設や一般家庭・事業所から出される剪定枝木をチップ化して利活用を図っていたが、放射性物質に汚染されたことから、ストックヤードに一時保管する。雑草や落葉についても家庭ごみとして焼却できないことから、剪定枝木と同様の処理を行う。	・剪定枝木・雑草等収集運搬業務委託 ・剪定枝木・雑草等破砕処理業務委託	66,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	66,000千円	A	同左	66,000千円	A	同左	66,000千円
67	クリーンセンター	焼却灰処理事業	焼却施設から発生する焼却灰を混合灰として搬出していたが、放射能濃度の低減を図るため、主灰と飛灰に分離排出する。また、飛灰はキレート処理したうえで、主灰と飛灰を委託処理する。25年度は、主灰と飛灰を分離する設備を設置する。	・飛灰詰込業務委託 ・消耗品購入(キレート剤・フレコンバッグ等) ・環境保全協力負担金 ・重機リース ・ストック用ラックレンタル ・主灰・飛灰分離設備の設置	227,082千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	213,372千円	A	同左	213,372千円	A	同左	212,294千円
68	クリーンセンター	施設の運転維持管理	焼却施設、粗大ごみ処理施設、終末処理施設の維持管理を行う。また、作業員の保護具の着脱のための専用更衣室用のコンテナハウスを賃借するとともに、老朽化した車両(ホイールローダ)を購入する。	・放射能対策用消耗品購入 ・コンテナハウス賃借 ・車両購入(ホイールローダ)	13,146千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	13,146千円	A	同左	13,146千円	A	同左	13,146千円
69	クリーンセンター	震災廃棄物の放射線測定	焼却灰や剪定枝木など、チップの放射線量を測定することで、焼却灰の委託処理やチップの管理を行う。	・震災廃棄物放射線測定分析	3,177千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	3,177千円	A	同左	3,177千円	A	同左	3,177千円
70	商工観光課	水生植物園の管理運営	手賀沼周辺の良好な景観を保持するため、水生植物園の整備管理を委託し、景観作物やあやめを栽培する。	・整備管理委託 ・土地賃借 ・給水ポンプ電気料	2,680千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,430千円	A	同左	2,430千円	A	同左	2,430千円
71	商工観光課	手賀沼周遊レンタサイクル・ミニSL事業	柏市側ステーション(中央体育館・道の駅しようなん)、我孫子市側ステーション(手賀沼公園・鳥の博物館・サイクルパーク我孫子南)でレンタサイクルを貸出するとともに、手賀沼公園内でミニSLを運行する。	・レンタサイクル・ミニSL運行委託 ・光熱水費 ・修繕料 ・消耗品購入	9,830千円	A	事業の必要性は高い レンタサイクルは収益改善に向けて手法検討	A	同左	8,879千円	A	同左	8,879千円	A	事業の必要性は高い	8,832千円
72	商工観光課	我孫子インフォメーションセンター運営事業	市民や事業者などと連携して我孫子市の魅力や観光情報を収集し、パンフレット類の館内への設置や企画展示、イベントの実施などにより市内外に向け発信する。25年度より指定管理者に運営を委託する。	・我孫子インフォメーションセンター指定管理委託	21,500千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	19,425千円	A	同左	19,425千円	A	同左	19,425千円
73	商工観光課	企業が進出しやすい環境整備	企業立地に関する方針を策定し、それに基づきながら、企業が進出しやすい環境整備を行う。	・企業立地に関する方針の策定 ・印刷製本	134千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	134千円	A	同左	134千円	A	同左	134千円
74	商工観光課	観光振興計画の推進	我孫子市の今後の観光戦略等をまとめた観光振興計画を推進するため、観光振興推進委員会を開催し、計画に基づく事業の検討・実施を行う。	・計画に基づく事業の検討・実施 ・観光振興推進委員会の開催	90千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	90千円	A	同左	90千円	A	同左	90千円
75	商工観光課	食品等の放射性物質検査(消費者対応)	市民が持ち込んだ食品等の放射性物質の簡易検査を行う。	・食品等の放射性物質の検査	4,491千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	4,491千円	A	同左	4,491千円	A	同左	4,491千円
76	商工観光課	パーソントリップ調査の分析	第5回パーソントリップ調査(平成20年:東京都市圏交通計画協議会)の調査結果から、我孫子市民の通勤・通学・買い物動向や、市外からの流入状況などについて、集計・解析を行う。	・パーソントリップ調査分析委託	2,909千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,327千円	A	同左	2,327千円	A	同左	2,327千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月27日現在)とその理由		事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)
77	商工観光課	観光PRキャラクターの活用	24年度に製作した観光PRキャラクターを観光情報の発信やイベント等で活用し、市の観光PRツールの一つとする。	・観光PRキャラクター啓発グッズの作成	1,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	927千円	A	同左	A	同左	927千円
78	商工観光課	あびこカップまつり	あびこカップまつりの実行委員会の一員としてまつりを開催する。	・あびこカップまつりへの負担金	480千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	480千円	A	同左	A	同左	480千円
79	農政課	市民農園の維持管理	市民に身近な農業体験の場である市民農園を提供する。25年度は、堆肥場を整備するとともに、案内板・掲示板を設置する。	・堆肥場の整備 ・案内板の設置 ・掲示板の設置	1,222千円	A	事業の必要性は高い	A	案内板の設置は根戸新田・布佐下線の整備後に検討	1,016千円	A	同左	A	同左	1,016千円
80	農政課	農業拠点施設の整備(車両の購入)	我孫子新田に農産物直売所を併設した農業拠点施設を整備する。施設整備は市が行い運営は民間が担う、公設民営方式を採用する。また、学校給食などの地元農産物を供給し、食育を推進する。25年度は、地産地消と食育に必要な軽トラックを購入する。	・車両購入	1,088千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,088千円	A	同左	A	同左	1,088千円
81	農政課	有機栽培等への支援	エコ農業(有機栽培や特別栽培)を行っている農業者や今後エコ農業を目指す農業者に対し、支援を行う。25年度は、生産履歴の管理支援やエコ農産物栽培技術の指導、農業適正使用の指導のため、専門職員を1名増員するとともに、残留農薬検査を実施する。	・嘱託職員(専門職員)の増員 ・残留農薬検査の実施	4,424千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	4,363千円	A	同左	A	同左	4,424千円
82	農政課	農業にかかる放射能対策	原発事故による放射能の影響を確認するため、我孫子市産農産物の放射性物質検査を行い、食の安全・安心の確保を行う。	・検査用消耗品の購入 ・分析機器の保守点検 ・損失補償検討委員会の報償	388千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	372千円	A	同左	A	同左	388千円
83	農政課	手賀沼農舞台の見直し	12年に策定した「手賀沼沿い農業活性化指針及び高野山新田農業体験リフレッシュプロジェクト基本構想」と17年に策定した「手賀沼農舞台実行計画(根戸新田編)」の見直しを行い、あらためて地権者の意向や農業経営・農地の実情等を踏まえた計画を策定し、計画に基づいた事業を推進する。	・手賀沼農舞台展開支援要綱の見直し ・手賀沼沿い農地の用排水対策調査	2,888千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,310千円	A	同左	A	同左	2,310千円
84	農政課	幹線排水路の護岸改修(利根地区)	軽量鋼矢板が腐食し、劣化が進んでいる幹線排水路について、国、県、柏市と共同で事業費を負担し、全体の機能診断を実施し、機能保全計画を作成する。	・幹線排水路の護岸改修調査負担金	1,150千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,150千円	A	同左	A	同左	1,150千円
85	放射能対策室	福島第一原発事故に伴う放射能汚染問題への対応	市民の不安を解消するため、除染や、大気中の放射線量や積算線量などの測定・公表、放射能対策総合計画や第二次除染実施計画の進行管理など総合的な放射能対策を推進する。	・放射線量低減対策委託 ・放射線量測定業務委託 ・私立高校・大学等の除染面積測量委託、除染工事 ・測定器の貸し出し ・測定器の校正他	122,795千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	122,795千円	A	同左	A	同左	122,795千円
86	道路課	布施地区の排水施設整備	布施根耕地地区の民有地への生活排水の流入を排除するため、雨水管を布設する。	・雨水管布設工事	5,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	4,500千円	A	同左	A	同左	4,500千円
87	道路課	土谷津地区の道路整備	土谷津地区内道路の拡幅整備を柏市と連携して行う。	・工事費負担金 ・擁壁工事	30,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	28,000千円	A	同左	A	同左	28,000千円
88	道路課	市道24-003号線等(妻子原地先)の改良	国道6号と天王台駅北口方面を結んでいる市道24-003号の拡幅整備を行うとともに、これに隣接する市道14-043号線の未拡幅部分の整備を行う。	・市道14-043号線用地の不動産鑑定 ・市道14-043号線の用地買収 ・市道14-043号線の拡幅工事	7,210千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	6,710千円	A	同左	A	同左	6,710千円
89	道路課	道路障害発生時(災害時)の規制、対策(車両の購入)	台風・大雨・積雪等の影響により通行障害のある区間について通行規制を行い、利用者の危険回避を図るとともに早期に障害対策を講じて、道路機能の回復を図る。25年度は緊急車両を購入する。	・緊急車両購入	3,500千円	C	事業の必要性は低い	C	同左	0千円	C	同左	C	同左	0千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月27日現在)とその理由		事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)
						優先度	理由	優先度	理由		優先度	理由		優先度	理由	
90	道路課	橋りょうの長寿命化修繕	市内にある117橋の点検を行い、劣化、損傷の著しい箇所について計画的に修繕していく。25年度は、つくし野歩道橋の補修工事を行う。	・橋りょう補修設計 ・橋りょう補修工事	51,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	50,900千円	A	同左	50,900千円	A	同左	50,900千円
91	道路課	道路環境美化の活動支援(アダプトプログラム)	歩道や駅前広場などの植樹帯の維持管理を行う市民の活動に対して、活動場所の確保や資材の貸出などの支援を行うとともに、このプログラムをPRし、活動に参加する市民を増やしていく。	・備品購入 ・広報等による周知 ・ボランティアの登録	500千円	A	事業の必要性は高い 備品購入は経常費の中で対応	A	同左	0千円	A	同左	0千円	A	同左	0千円
92	道路課	湖北小学校入口交差点改良	湖北小学校入口の交差点の道路を拡幅するとともに、感应式の信号機を設置し、交差点の安全性を確保する。	・現地調査・測量 ・交差点改良工事実施設計	3,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,700千円	A	同左	2,700千円	A	同左	2,700千円
93	道路課	駅前広場の再整備	JR各駅前広場に身体障害者や高齢者用の乗降場を順次整備する。	・乗降場整備工事	1,000千円	A	事業の必要性は高い 経常費の中で対応	A	同左	0千円	A	同左	0千円	A	同左	0千円
94	道路課	道路の放射能対策	市内の放射線量測定結果に基づき、線量の高い地域の小中学校・保育園・幼稚園周辺の通学路で優先に側溝土砂の撤去・清掃等を行い、道路の放射線量の低減を図る。	・放射線量低減対策委託 ・汚染土壌保管用フレキシブルコンテナ購入 ・残土処理 ・クレーン付トラック借上げ	38,152千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	38,152千円	A	同左	38,152千円	A	同左	38,152千円
95	道路課	白山跨線人道橋の延伸整備	白山跨線人道橋前の国道356号には押しボタン信号が設置されているが、歩道幅員が狭く、カーブして見通しが悪く危険であることから、地元住民と協議を行いながら人道橋の延伸整備を行う。	・人道橋延伸工事設計 ・地質調査 ・測量	17,500千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	17,250千円	A	同左	17,250千円	A	同左	17,250千円
96	道路課	我孫子市公共基準点測量	現状とあっていない公共測量成果を測量し直し、世界標準に合わせる。	・我孫子市公共基準点測量	15,183千円	A	事業の必要性は高い 必要なエリアが生じた場合は経常費の中で対応	A	同左	0千円	A	同左	0千円	A	同左	0千円
97	道路課	東日本大震災災害復旧	東日本大震災によって被害を受けた布佐地区の道路の復旧を行う。	・舗装・排水施設の復旧工事	50,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	40,000千円	A	同左	40,000千円	A	同左	40,000千円
98	道路課	ゾーン30の推進	住宅地内の生活道路での交通規制(最高速度30km/h)や歩行者優先を促す路側帯の設置・拡幅・車道中央線の抹消等の交通安全対策を行う。	・安全施設整備工事設計 ・安全施設整備工事	3,600千円	A	事業の必要性は高い 設計は職員で対応	A	同左	2,600千円	A	同左	2,600千円	A	同左	2,600千円
99	道路課	市道32-027号線(下ヶ戸地区)の拡幅	下ヶ戸地区内の狭い道路を拡幅し、防災機能の強化や良好な住環境を確保する。	・測量 ・設計 ・不動産鑑定	4,500千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	4,200千円	A	同左	4,200千円	A	事業の必要性は高い 整備手法を検討したうえで設計を実施	4,200千円
100	道路課	湖北中学校周辺道路の湧水対策	法面からの湧水により常に滞水している状況にある湖北中学校周辺道路を、安全で快適に通行できるよう暗渠施設を布設する湧水対策工事を行う。	・暗渠施設布設工事	12,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	10,000千円	A	同左	10,000千円	AA	事業の必要性は高い 国の臨時交付金を活用して24年度補正予算で対応	0千円
101	道路課	市道00-127号線(中峠地区)の道路整備	中峠地区の重要な生活道路で、通学路にもなっている道路の改修工事を行い、側溝の凸凹をなくす。	・側溝布設工事	4,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	3,600千円	A	同左	3,600千円	A	同左	3,600千円
102	交通課	手賀沼公園・久寺家線の整備	都市計画道路「手賀沼公園・久寺家線(全長1,270m)」のうち、未整備区間の延長520mを整備する。	・不動産鑑定 ・調査委託 ・用地取得 ・物件移転補償 ・道路改良工事他	341,023千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	335,273千円	A	同左	335,273千円	A	同左	335,273千円
103	交通課	湖北駅・北口線の整備	湖北駅北口の利便性等の向上を図るため駅前広場(整備面積2,900㎡)を、県事業と連携を取りながら整備する。	・湖北駅・北口線の整備負担	11,850千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	11,850千円	A	同左	11,850千円	A	同左	11,850千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月27日現在)とその理由		事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)
						優先度	理由	優先度	理由		優先度	理由		優先度	理由	
104	交通課	各駅エレベーター・エスカレーター等の整備	各駅入口にエレベーター・エスカレーターを整備し、駅施設のバリアフリー化を推進する。25年度は引き続き新木駅のエレベーター・エスカレーター、橋上駅舎の設計を行うとともに、自転車駐車を移設する。	・新木駅自転車駐車の移設工事 ・新木駅自転車駐車場用地の賃借 ・確認申請手数料	9,775千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	9,775千円	A	同左	9,775千円	A	同左	9,775千円
105	交通課	地域公共交通総合連携計画の推進	基幹公共交通(鉄道・路線バス)ネットワークを軸に、あびバス路線の再編や新規路線の検討を行う。また、誰もが利用しやすい新たな公共交通の導入を検討する。	・実証運行(根戸ルート) ・調査検証・計画策定委託	11,596千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	11,596千円	A	同左	11,596千円	A	同左	11,596千円
106	交通課	下ヶ戸・中里線外1線の整備	千葉県の進める都市計画道路3・5・15号根戸新田・布佐下線の整備進捗にあわせて、下ヶ戸・中里線の未整備区間170mと青山・日秀線の未整備区間のうち540mを整備する。	・道路概略・予備設計	5,500千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	4,950千円	A	同左	4,950千円	A	同左	4,950千円
107	下水道課	布佐駅南側地区の都市基盤整備(下水道)	布佐駅南側地区の公共下水道管布設工事と、それに伴う支障物件の移設工事や家屋調査を行う。	・下水道管布設工事 ・支障物件の移設工事 ・家屋調査 ・補填補償	194,600千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 支障物件の移設工事、家屋調査、補填補償は経常費の中で対応	175,000千円	A	同左	175,000千円	A	同左	175,000千円
108	治水課	並木地区の排水路改修	並木地区の浸水被害を軽減するため、既存排水路の改修を下流から順次行い、排水路約320mを整備する。	・不動産鑑定 ・水路用地買収 ・囑託登記	1,052千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	464千円	A	同左	464千円	A	同左	464千円
109	治水課	布佐ポンプ場の築造	布佐駅東側地区の浸水被害を軽減するため、北千葉排水機場に隣接する布佐北1号幹線南部幹線の合流部の手賀川沿いに、雨水ポンプ場を建設する。	・工事(機械・電気) ・附帯工事(場内施設等) ・家屋事後調査 ・特別調査	445,220千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	445,220千円	A	同左	445,220千円	A	同左	445,220千円
110	治水課	北新田堤外排水路の改修	柴崎排水区の浸水被害を軽減するため、抜本的な雨水排除対策を行う必要があるため、第一段階として放流先である利根川堤外地の排水路改修工事を行う。	・用地測量 ・用地買収 ・囑託登記 ・水路改修工事 ・附帯工事 ・改良区清算他	134,995千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	91,995千円	A	同左	91,995千円	A	同左	91,995千円
111	治水課	若松地区排水ポンプの整備	若松地区の沼側区域の浸水被害を軽減するため、千葉県の手賀沼湖岸堤整備計画にあわせて5年降雨確率に対応する樋管を整備する。	・樋管工事 ・家屋事前・事後調査 ・水道移設工事 ・バイパス管工事 ・雨水管布設工事実施設計 ・ポンプ場工事他	487,250千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い バイパス管工事は26年度以降に実施	305,000千円	A	同左	305,000千円	A	同左	305,000千円
112	治水課	排水施設の維持補修	雨水を円滑に排除するため、排水施設の補修工事を行う。25年度は上新木幹線の改修工事を完了させる。	・上新木幹線改修工事(2工区) ・上新木家屋事前調査	28,970千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	27,000千円	A	同左	27,000千円	A	同左	27,000千円
113	治水課	関東排水区の整備(我孫子駅北口浸水対策事業)	我孫子4丁目地区の浸水被害を軽減するため、調整池を築造し、治水安全度の向上を図る。25年度は我孫子市公共下水道(雨水)事業計画の変更を行う。	・公共下水道事業計画の変更	2,520千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,016千円	A	同左	2,016千円	A	同左	2,016千円
114	治水課	久寺家第1排水区の整備	久寺家1丁目、2丁目地区の浸水被害を軽減するため、雨水排水施設の整備を行う。	・雨水管布設工事 ・附帯工事 ・家屋事前・事後調査 ・道路復旧工事 ・支障物件移設工事(ガス・水道)他	280,800千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	136,800千円	A	同左	136,800千円	A	同左	136,800千円
115	治水課	天王台地区の整備(天王台6丁目地区浸水対策事業)	天王台6丁目の浸水被害を軽減するため、雨水排水施設の整備を行う。	・雨水管布設工事 ・附帯工事 ・家屋事前調査 ・電柱移設負担金 ・雨水貯留タンク設置補助他	202,000千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 雨水貯留タンク設置補助は不採択	43,500千円	A	同左	43,500千円	A	同左	43,500千円
116	治水課	柴崎排水区の整備(後田樋管整備事業)	柴崎地区の浸水被害を軽減するため、国土交通省と協議を進めながら後田樋管の整備を行う。	・公共下水道事業計画の変更 ・国土交通省協議	7,780千円	B	事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討 ただし国土交通省との協議は進めること	A	国土交通省と連携して進めていくことが 不可欠であり、事業の必要性は高い	7,780千円	A	同左	7,780千円	A	同左	7,780千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月27日現在)とその理由	事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由	事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由	事業費(第4回査定後)
117	治水課	雨水排水施設台帳の作成	我孫子市の雨水排水施設を把握するため、雨水排水施設の形状・寸法等の調査を行い、その調査結果や既存資料を整理し、雨水排水施設台帳を作成する。	・雨水排水施設基礎調査(我孫子地区)	14,700千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円	B 同左	0千円
118	都市計画課	都市計画に関する情報の管理・提供	適切な土地利用の誘導を図るため、都市計画に関する情報提供を行う。25年度は、老朽化した生産緑地地区の標識の修繕を行う。	・生産緑地地区の標識の修繕	440千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	440千円	A 同左	440千円	A 同左	440千円
119	都市計画課	景観ポイント整備	ハケの道沿いの商業施設や個人住宅の緑化修景を図る。25年度は、市民が簡単に取り組める景観づくりの事例等を掲載した啓発用パンフレットを作成する。	・啓発用パンフレットの印刷・製本	173千円	A 事業の必要性は高い 啓発用パンフレットは、景観アドバイザーを活用し、経常費の中で対応	A 同左	0千円	A 同左	0千円	A 同左	0千円
120	都市計画課	嘉納治五郎別荘跡地の建物解体事業	嘉納治五郎別荘跡地にある既存の建物を解体処分する。	・既存建物の解体撤去	10,217千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	9,450千円	A 同左	9,450千円	A 同左	9,450千円
121	都市計画課	あびバス景観マップの作成	市民団体と共同で、あびバスルートのルートに沿って景観マップを作成する。25年度は「船戸・台田ルート」のマップを作成する。	・景観マップの作成(1ルート)	111千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	111千円	A 同左	111千円	A 同左	111千円
122	建築住宅課	市営住宅の維持補修	我孫子市地域住宅計画(二期)に基づき、市営住宅の質的向上を図るため、老朽施設の改修、バリアフリー化の推進、耐震性の確保などを行う。	・東我孫子A団地改修工事 ・根古屋団地1・2号改修工事設計	46,300千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	46,300千円	A 同左	46,300千円	A 同左	46,300千円
123	建築住宅課	市営住宅都部団地の用途廃止	耐用年数を迎える市営住宅都部団地の用途廃止にあたり、入居者移転を進め、26年度末までに地権者に用地を返還する。	・移転費用負担 ・解体工事設計業務	3,705千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,138千円	A 同左	3,138千円	A 同左	3,138千円
124	建築住宅課	市営住宅児童遊園の除染	栄団地、東我孫子A団地、東我孫子B団地の児童遊園の除染工事を実施する。	・児童遊園の放射線量低減対策工事(栄団地、東我孫子AB団地)	1,708千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,708千円	A 同左	1,708千円	A 同左	1,708千円
125	建築住宅課	市営住宅東我孫子電波障害対策用電柱共架施設の撤去	市営住宅東我孫子A・B団地のアナログ放送電波障害対策のため、電柱に設置した共架施設が、地上波のデジタル化に伴い不要になったため撤去する。	・撤去調査 ・撤去工事	2,957千円	AB 事業の必要性は高いが、26年度以降に実施 25年度に手法を検討	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
126	公園緑地課	古利根沼周辺の保全と整備	「古利根沼周辺保全基本計画」に基づき、自然環境の保全と復元に取り組む。25年度は浸食防止の緊急的な護岸整備を行う。また、民地との境界を復元するため測量を行う。	・測量委託 ・護岸工事	3,243千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 緑の基金を活用して実施	3,182千円	A 同左	3,182千円	A 同左	3,182千円
127	公園緑地課	嘉納治五郎別荘跡地の整備・活用	嘉納治五郎別荘跡地の用地を買収し、東屋、ベンチ及び嘉納治五郎の足跡を顕彰する説明板を設置するなど、都市緑地として整備を進める。	・不動産鑑定 ・分筆登記 ・用地の買戻し ・整備工事実施設計 ・公園施設整備(東屋、ベンチ等) ・公園台帳の作成他	96,088千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	96,038千円	A 同左	96,088千円	A 同左	96,088千円
128	公園緑地課	歴史公園の整備	根戸城址や金塚古墳とその周辺の樹林地を歴史公園(仮称・根戸城址公園)として整備する。	・基本計画の策定	3,469千円	AB 事業の必要性は高いが、手賀沼公園・久寺家線の整備にあわせて実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
129	公園緑地課	緑の基本計画の見直し	基本構想や都市計画マスタープランの見直しを踏まえながら、緑の基本計画の見直しを行う。	・基本計画の改定 ・策定委員会の開催 ・印刷製本	3,561千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,886千円	A 同左	2,886千円	A 同左	2,886千円
130	公園緑地課	気象台記念公園の整備	気象台記念公園整備計画検討懇談会の提言に基づき、環境や歴史などの特徴を十分踏まえながら、公園を整備する。25年度は、防災機能を有する公園にふさわしい駐車場や遊具を整備する。	・遊具の整備 ・駐車場整備実施設計	13,292千円	AB 事業の必要性は高いが、26年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
131	公園緑地課	公園管理(遊具・施設)	市内214か所の公園・緑地の遊具・施設の維持管理を行う。25年度は宮ノ森公園内の借地を買収する。	・不動産鑑定 ・宮ノ森公園の用地取得	1,003千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 用地取得については、緑の基金を活用して実施	1,003千円	A 同左	1,003千円	A 同左	1,003千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月27日現在)とその理由	事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)
						A				A			A		
132	公園緑地課	南新木沖田公園の整備	新興住宅地における若い世代の子育て空間として、また、災害時の避難場所など、地域の人々が多目的に使える開放的な緑地空間として南新木沖田公園を整備する。	・ベンチの設置(8基)	2,617千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 整備手法を工夫して実施	1,308千円	A	同左	A	同左	1,308千円
133	公園緑地課	並木地区街区公園の整備	並木小学校正門前にある市所有の未利用地(約3,000㎡)に街区公園を整備する。	・施設整備工事(園路、水飲み場、公園灯など) ・公園台帳作成業務委託	11,892千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 当面は広場として整備することとし、公園台帳作成業務委託については不採択	6,625千円	A	同左	A	同左	6,625千円
134	公園緑地課	市民の森・施設整備	岡登戸市民の森、中里市民の森、布佐市民の森を、それぞれの整備計画に基づいて保全・整備する。25年度は、中里市民の森の整備を行う。	・園路の整備 ・ロープ柵の付替え ・園名柱の設置	1,250千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,250千円	A	同左	A	同左	1,250千円
135	公園緑地課	公園の放射能対策	空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルトより高い公園について、芝の剥ぎ取りや土壌の削り取りなどにより除染工事を実施する。また、除染を行った公園の復旧工事を行う。	・除染工事 ・復旧工事 ・放射線量測定業務委託	52,710千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	52,710千円	A	同左	A	同左	52,710千円
136	地域整備課	布佐駅南側の都市基盤整備	布佐駅南側地区計画に基づき、布佐駅南側地区約12.7haで、公園や道路等の都市基盤整備を行う。	・不動産鑑定 ・地権者交渉 ・用地取得 ・実施設計(公園・道路) ・移転補償他	103,762千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	102,050千円	A	同左	A	同左	102,050千円
137	地域整備課	我孫子駅前土地区画整理事業の推進	我孫子駅南側14.5haの区域で土地区画整理事業を実施し、道路、駅前広場、公園などの公共施設や宅地を整備する。	・測量、分筆、杭復元など ・道路整備工事 ・ガス管の移設他	62,280千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 道路整備工事は手賀沼公園・久寺家線の整備にあわせて実施	4,780千円	A	同左	A	同左	4,780千円
138	地域整備課	我孫子駅北側土地区画整理事業の推進	我孫子駅北側14.7haの区域で土地区画整理事業を実施し、道路、駅前広場、公園などの公共施設や宅地を整備する。25年度は換地処分公告を行う。	・区画整理登記 ・測量・換地図修正 ・その他工事 ・清算事務	336,533千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	336,533千円	A	同左	A	同左	336,533千円
139	布佐東部地区復興対策室	小規模住宅地区改良事業	布佐東部地区の復興を進めるため、不良住宅の除却と道路などの公共施設の再整備を行うとともに、不良住宅を除却後、住宅再建の目的が立たない被災者を対象とした市営住宅を建設する。	・不動産鑑定 ・用地取得 ・建設用地の造成工事 ・市営住宅の建設 ・付帯工事 ・移転補償 ・雨水調整池整備工事 ・民間借家等賃借費負担他	455,306千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	455,306千円	A	同左	A	同左	455,306千円
140	布佐東部地区復興対策室	市街地液状化対策事業	布佐東部地区において、大地震による地盤の液状化被害の発生を抑制するため、液状化対策事業計画を策定し、道路などの公共施設と隣接する宅地との一体的な液状化対策を実施する。また、沈下した宅地を盛土し、道路と宅地の高さの調整を行う。	・液状化対策事業計画の策定 ・宅地高調整工事 ・液状化対策検討委員会・委員報償費	1,410千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,410千円	A	同左	A	同左	1,410千円
141	消防・総務課	消防庁舎・装備の維持管理	災害時の活動拠点としての機能を発揮できるよう、消防庁舎や付帯設備を適正に維持管理する。25年度は、本部庁舎の屋上防水工事を行う。	・本部庁舎の屋上防水工事	16,100千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 25年度は外壁も含めて調査・設計を実施	4,451千円	A	同左	A	同左	4,451千円
142	警防課	救急・救助活動車両・資機材の整備・管理	救急・救助活動車両や資機材を適正に整備・更新する。25年度は、増加する救急搬送需要に対応するため高規格救急自動車を整備する。	・高規格救急自動車の整備	41,322千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	41,322千円	A	同左	A	同左	41,322千円
143	警防課	消防団車両等の維持管理	災害発生時における緊急出動に備えるため、消防団車両等の計画的な更新整備と日常の車両維持管理を行う。	・積載車3台の更新	19,273千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	19,273千円	A	同左	A	同左	19,273千円
144	議会事務局	議会情報の提供	議会ホームページや議会だよりの編集・発行、本会議や委員会の議会ライブ中継や録画中継を実施し、議会情報を市民に広く提供する。	・議会議中継室内テレビ放送等デジタル化機器等の購入	1,134千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,134千円	A	同左	A	同左	1,134千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月27日現在)とその理由	事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由	事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由	事業費(第4回査定後)
145	教委・総務課	小中学校施設の維持管理	校舎等施設の改修工事・修繕を行い、維持管理する。	・二小校門整備工事設計 ・二小校門整備工事 ・布佐中都市ガス工事	20,226千円	A 事業の必要性は高い 布佐中都市ガス工事については、緊急性が低いため次期実施計画で検討	A 事業の必要性は高い 布佐中都市ガス工事については、小中学校体育館の耐震工事完了後に、小中学校施設全体の改修計画の中で検討	6,165千円	A 同左	6,165千円	A 同左	6,165千円
146	教委・総務課	小中学校体育館の耐震補強	小中学校の新耐震基準に適合しない体育館の耐震診断に基づき、耐震補強を要する体育館の耐震補強工事と、それに合わせて必要なトイレ・外壁・屋根などの改修や省エネルギー照明工事を実施する。	・耐震補強等工事・省エネルギー照明工事等(布佐小、湖北中、並木小、三小、白山中) ・耐震補強等工事設計(新木小、久寺家中、二小、根戸小) ・体育館の大規模改修工事(湖北台東小) ・大規模改修工事設計(湖北台西小、湖北台中)	598,508千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	597,725千円	A 同左	597,725千円	A 同左	597,725千円
147	教委・総務課	小中学校教室の改修	小中学校の児童生徒数増加に対応するため、普通教室等への改修工事を実施して教室不足を解消するとともに、教育環境を整備する。	・四小改修工事(多目的室) ・久寺家中教室改修工事(木工室、準備室) ・根戸小学校教室改修工事(図書室、第二音楽室、音楽準備室、旧給食室)改修工事 ・白山中工事設計(ランチルーム改修)	58,213千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	58,113千円	A 同左	58,113千円	A 同左	58,113千円
148	教委・総務課	学校給食施設の改修	根戸小学校を除く小学校12校の給食室について、現行の設置基準に対応した改修工事を順次実施する。	・四小給食用昇降機棟建築工事	39,074千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	39,074千円	A 同左	39,074千円	A 同左	39,074千円
149	教委・総務課	小中学校施設の放射能対策	第二次除染実施計画に基づき、小中学校施設内の比較的放射線量の高い場所(ホットスポット)の除染を実施する。	・放射線量低減対策工事	20,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	20,000千円	A 同左	20,000千円	A 同左	20,000千円
150	教委・総務課	定例・臨時教育委員会の運営	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、保護者の代表1名を新たに教育委員として加える。	・教育委員会委員報酬(増員分) ・教育委員県外情報交換会参加	502千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	502千円	A 同左	502千円	AB 事業の必要性は高いが、25年度は、教育委員会のあり方等についてさらに検討	0千円
151	学校教育課	スクールサポート教員の配置	児童生徒の個性に応じたきめ細やかな指導を行うため、学校の実情を踏まえながら、補助教員であるスクールサポート教員を配置する。	・スクールサポート教員増員(2名)	3,242千円	AB 事業の必要性は高いが、26年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
152	学校教育課	小中学校配置職員の管理	児童数の多い小学校3校に、会計などの学校事務を行う事務補佐員を配置する。	・臨時事務補佐員増員(3名)	1,901千円	AB 事業の必要性は高いが、26年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
153	学校教育課	学校給食の管理運営	給食食材の放射性物質検査を実施する。	・放射性物質測定用食材の購入 ・測定機器の校正 ・給食まるごと検査 ・児童・生徒災害非常食の購入	4,494千円	A 事業の必要性は高い 災害非常食の購入については、要調整	A 事業の必要性は高い 災害非常食の購入については、自助や共助での対応を検討	2,434千円	A 同左	2,434千円	A 同左	2,434千円
154	学校教育課	学校の環境衛生事業	子どもたちが安全に学習できるよう、校内の放射線量を測定する。	・測定機器の校正	158千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	158千円	A 同左	158千円	A 同左	158千円
155	学校教育課	小中学校の管理運営	小中学校の光熱水費や消耗品など、学校運営予算の管理・執行を行う。	・光熱水費の増額(四小の学童保育室の新築、湖北台東小の子どもの居場所の新設、二小の増築分)	1,198千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	700千円	A 同左	700千円	A 同左	1,198千円
156	学校教育課	小中学校の備品管理	小中学校の備品を適正に購入し、管理する。	・備品管理システムの導入 ・特別教室の設置や学級増に伴う備品の購入 ・放送設備や楽器、体育備品の購入 ・小学校図書室の図書・書架の購入	31,970千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 備品管理システム、学級増に伴う備品、二小の工作机、二小・湖北小の放送設備、小学校図書室の図書・書架を採択	17,238千円	A 同左	17,238千円	A 同左	17,238千円
157	学校教育課	小中学校給食調理業務の民間委託	小学校給食調理業務委託計画(第4期)に基づき、小中学校給食業務の民間委託を進める。	・並木小給食調理業務委託	18,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	18,000千円	A 同左	18,000千円	A 同左	18,000千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月27日現在)とその理由	事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由		事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由		事業費(第4回査定後)	
158	学校教育課	学校給食施設設備の整備	給食施設設備の整備と維持管理を行う。	・高野山小給食室入口の網戸取付 ・湖北小給食室の修繕	1,270千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,270千円	A	同左	1,270千円	A	同左	1,270千円
159	指導課	国際理解教育の推進(ALT)	ALT(外国語指導助手)を増員し、児童が英語に接する機会を増やすとともに、日本語を理解することが困難な児童・生徒に対して、日本語指導者を派遣する。	・ALTの増員(1名) ・日本語指導者の派遣	5,212千円	A	事業の必要性は高い 日本語指導者の派遣のみ採択	A	同左	600千円	A	同左	600千円	A	同左	600千円
160	指導課	学力向上研修・小中交流授業研修	児童・生徒の学力向上のため、小中学校間での交流授業研修会を行うとともに、学力検査を実施する。	・学力検査用紙の購入 ・集計作業	8,310千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	8,310千円	A	同左	8,310千円	A	同左	8,310千円
161	指導課	教職員資質向上研修	各校で校内研修会を行い、特色ある教育実践をより一層充実させる。25年度は、いじめ対策についての研修会を行う。	・講師報償	200千円	A	事業の必要性は高い 経常費の中で対応	A	同左	0千円	A	同左	0千円	A	同左	0千円
162	指導課	小中学校コンピュータ教育の推進	パソコンを活用した教育を進めるとともに、校務用コンピュータを整備して、校務の効率化を図る。25年度は、根戸小、久寺家中の児童・生徒数の増加に伴うパソコンの不足数を補充する。	・パソコン・ネットワーク機器の買値	2,508千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い PC教室不足分と人数増分のみ採択	1,580千円	A	同左	1,580千円	A	同左	1,580千円
163	指導課	小中学校理数教育の支援	理数教育の充実を図るため、市が理数教育サポーターを直接雇用し、配置する。	・理数教育サポーターの増員(6名)	6,170千円	B	事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B	同左	0千円	B	同左	0千円	B	同左	0千円
164	指導課	学級経営の支援	すべての小中学校において、学校生活の満足度を計るためのQ-U検査を実施し、その検査結果を踏まえた教職員研修を行うなど、教員の学級経営能力の向上を図る。	・Q-U検査の実施	6,794千円	A	事業の必要性は高い 実施方法を検討すること	A	事業の必要性は高い Q-U検査については、小学校3年・5年・6年、中学校1年・2年、研修会を採択	3,894千円	A	同左	3,894千円	A	同左	3,894千円
165	指導課	小中一貫教育の推進	中1ギャップの解消や学力向上、豊かな人間性の育成などを図るため、小中学校を通じた一体的・継続的な教育を推進する。25年度は、小中一貫教育の実現に向けて、その方向性や学校経営のあり方、教科カリキュラムなどについて検討する。	・先進地視察 ・アドバイザー報償 ・嘱託職員配置(1名)	2,647千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	2,647千円	A	同左	2,647千円	A	同左	2,647千円
166	生涯学習課	長寿大学	高齢者がより充実した生活を送るために、人間関係を深めつつ、地域の課題やまちづくりなどに関する知識を楽しく学び、地域活動やまちづくり等に積極的に参加できるような学習の機会を提供する。25年度は、長寿大学40周年記念事業として健康寿命延伸につながる講演会を開催する。	・施設使用料 ・講師報償 ・ホール管理委託	593千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	576千円	A	同左	576千円	A	同左	576千円
167	生涯学習課	アビスタ施設の維持管理	生涯学習センター「アビスタ」が安全で利用しやすい施設となるよう、施設設備の修繕・改修の時期を調整し、計画的に整備していく。	・自家発電用蓄電池の交換	646千円	B	事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B	同左	0千円	B	同左	0千円	B	同左	0千円
168	生涯学習課	湖北地区公民館の管理と施設の維持管理	湖北地区公民館の管理・運営を指定管理者に委託して行う。開館から20年が経過し、施設設備等に老朽化が原因とする不具合が多数発生しているため、計画的に設備の更新や修繕を実施する。	・ホール音響機器のリース ・空調設備更新工事設計 ・事務室系空調設備の更新工事 ・外壁改修工事設計	9,788千円	A	事業の必要性は高い ホール音響機器のリースと事務室系空調設備の更新工事のみ採択	A	同左	6,654千円	A	同左	6,654千円	A	同左	6,654千円
169	文化・スポーツ課	プロデュース事業(石川和則写真展・講演会)	市内に在住し、両極点を制覇した冒険家石川和則氏の活動を記録した写真展を開催するとともに、講演会を開催する。	・講師報償 ・消耗品の購入、印刷製本 ・技術スタッフ、会場設営委託 ・会場使用料	689千円	A	事業の必要性は高い 事業の位置付けを明らかにしたうえで実施	A	同左	570千円	A	同左	570千円	A	同左	570千円
170	文化・スポーツ課	体育施設の改修	野球場や体育館などの体育施設を安全に利用できるよう、老朽化が著しい箇所を計画的に改修する。	・体育施設改修計画作成 ・市民体育館第2駐車場修繕工事 ・トイレ改修(5箇所) ・トイレ照明の省エネ化工事 ・テニスコート安定器交換工事	6,985千円	A	事業の必要性は高い 市民体育館第2駐車場修繕工事のみ採択	A	事業の必要性は高い 市民体育館第2駐車場修繕工事と多目的トイレ改修のみ採択 スポーツ振興基金を活用して実施	1,391千円	A	同左	1,391千円	A	同左	1,391千円

平成25年度予算(新規事業分)の一覧表

整理番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成25年度の主な事業内容(新規分)	平成25年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月27日現在)とその理由	事業費(第2回査定後)	優先度(第3回、1月11日現在)とその理由	事業費(第3回査定後)	優先度(第4回、1月25日現在)とその理由	事業費(第4回査定後)
171	文化・スポーツ課	体育施設管理運営事業(含む放射能対策)	子どもたちの利用する機会が多い川村学園女子大学グラウンドの除染工事を実施する。	・川村学園女子大学グラウンド除染工事	34,490千円		A 事業の必要性は高い	34,490千円	A 同左	34,490千円	A 同左	34,490千円
172	文化・スポーツ課	上沼田野球場の整備	旧県立湖北高校の上沼田野球場の施設整備を行い、利用者が安全に施設を利用できるようにする。	・外野フェンス設置工事	1,050千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い スポーツ振興基金を活用して実施	1,050千円	A 同左	1,050千円	A 同左	1,050千円
173	文化・スポーツ課	文化財の指定調査と保存支援	指定文化財制度や登録文化財制度の活用を進め、文化財の保存を図る。また、指定文化財補助制度を創設し、文化財を保存・修復する取り組みに対して補助金を交付する。	・(仮称)指定文化財等保存支援補助金	800千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	800千円	A 同左	800千円	A 同左	800千円
174	文化・スポーツ課	考古遺物整理	開発等により消滅する埋蔵文化財を歴史的遺産として後世に伝えるため、発掘調査により記録保存した資料を整理・研究し、今後10年間で順次報告書として刊行する。	・臨時職員配置(4名) ・消耗品の購入、印刷製本 ・DTPパソコン賃借 ・石材同定分析委託	5,001千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	4,981千円	A 同左	4,981千円	A 同左	4,981千円
175	文化・スポーツ課	旧井上家住宅の保存と活用	市内で唯一の登録有形文化財である旧井上家住宅の保存と活用を図る。	・建物修復工事実施設計	14,375千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 基本設計のみ採択	4,316千円	A 同左	4,316千円	A 同左	4,316千円
176	鳥の博物館	博物館施設設備の維持管理	鳥の博物館の老朽化した施設の補修や、設備の補修・更新を行う。	・標本維持管理用除湿機の設置工事 ・講堂天井と展示室照明のLED化工事	3,775千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施	3,775千円	A 同左	3,775千円	A 同左	3,775千円
177	図書館	デジラー録音図書作成	視覚障害者など活字資料をそのままでは利用できない市民に対して、市内朗読ボランティア団体と連携して、見出しのみの再生や、見出しから見出しへのジャンプ再生が可能な方式により音声化した録音図書を作成し、提供する。	・デジラー再生機(2台) ・点字ラベルライター ・CDキャビネット ・消耗品の購入	313千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	313千円	A 同左	313千円	A 同左	313千円
178	図書館	図書館施設・設備の維持管理	図書館施設・設備の維持管理を行う。25年度は布佐分館の防水改修工事を行う。	・布佐分館屋上防水工事設計 ・布佐分館屋上防水改修工事	13,645千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 応急補修を行い、経過を観察	299千円	A 同左	299千円	A 同左	299千円